



## 2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月2日

上場会社名 イー・ガーディアン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6050 URL <https://www.e-guardian.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高谷 康久  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 溝辺 裕 TEL 03-6205-8859  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年9月期第3四半期の連結業績（2022年10月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	9,083	4.4	1,363	△22.1	1,388	△22.6	928	△30.8
2022年9月期第3四半期	8,700	20.7	1,750	26.6	1,794	24.6	1,343	64.6

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 928百万円 (△31.9%) 2022年9月期第3四半期 1,365百万円 (65.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	92.66	—
2022年9月期第3四半期	133.88	—

(注) 「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	8,725	7,077	81.1
2022年9月期	8,414	6,482	77.0

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 7,077百万円 2022年9月期 6,482百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期（予想）	—	—	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,850	9.3	2,195	△3.4	2,220	△4.1	1,500	△11.2	150.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

「1株当たり当期純利益」の算定上、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：有
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期3Q	10,405,800株	2022年9月期	10,405,800株
② 期末自己株式数	2023年9月期3Q	412,808株	2022年9月期	372,608株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期3Q	10,025,652株	2022年9月期3Q	10,033,554株

(注) 期末自己株式数には役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めて記載しております。また、期中平均株式数の算定に当たり、その計算において控除する自己株式に、役員向け株式交付信託が保有する当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計上の見積りの変更) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループを取り巻く国内のインターネット関連市場では、動画視聴やEC（インターネット通販）サービス、Fintech関連サービスの拡大・成長傾向が継続しております。

また、コロナ禍が落ち着きを見せて旅行や購買などの消費行動が活発となったことに伴い、広告出稿も各企業が積極的に行う中、広告内容の真偽等に消費者の関心が高まりを見せており、広告審査業務に関する需要が伸長しております。

今後もインターネットにおける技術革新はますます進み、様々なサービスが展開されていくものと予想されますが、リモートワークの定着・拡大に伴うセキュリティへの不安の高まりや、IoT（※1）の進展によりあらゆるものがサイバー攻撃のリスクにさらされる等、インターネットセキュリティの課題は年々増え、かつ深刻化しており、全てのインターネットユーザーが安心して利用できるよう、安全性を求める声は一層高まりを見せております。

（※1）Internet of Things（モノのインターネット）の略称。建物、車、及び電子機器等の様々なモノをネットワークによりサーバーやクラウドサービスへ接続し、相互に情報交換する仕組み。

このような市場環境のもと、当社グループは経営理念「We Guard All」を掲げる総合ネットセキュリティ企業として、「AIと人のハイブリッド」を強みに、高品質かつ高効率のセキュリティワンストップサービスを提供してまいりました。

当第3四半期連結累計期間では、上記のような市場環境を背景として、コロナワクチン接種受付業務など一部既存案件の終了があったものの、EC・フリマサイトのカスタマーサポートや、eKYCサービス（※2）、広告審査業務が順調に推移いたしました。

さらにランサムウェアやサプライチェーン攻撃の増加により企業のサイバーセキュリティへの関心が高まったことで、サイバーセキュリティ事業における脆弱性診断サービスの需要を取り込み、大きく伸長いたしました。

（※2）electronic Know Your Customerの略称。オンライン上で本人確認が完結する仕組み。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は9,083,041千円（前年同期比4.4%増）、営業利益は1,363,892千円（前年同期比22.1%減）、経常利益は1,388,630千円（前年同期比22.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は928,973千円（前年同期比30.8%減）となりました。

当社グループは単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はありません。業務の種類別の業績は以下の通りであります。

① ソーシャルサポート

ソーシャルサポートは、ソーシャルWebサービス等の様々なインターネットサービスを対象に、投稿監視、カスタマーサポート及び風評調査等を提供しております。

コロナ禍で定着したECサイト利用に関わるカスタマーサポート、並びにキャッシュレス化の広がり及び本人認証の厳格化に伴い、eKYCサービスが拡大いたしました。

一方で、コロナワクチン接種受付業務のような一部既存案件の終了もありましたが、売上高は5,228,697千円（前年同期比5.1%増）となりました。

② ゲームサポート

ゲームサポートは、ソーシャルゲームを対象に、主にカスタマーサポート及びデバッグ業務等を提供しております。

海外ゲーム会社のローカライズ業務が大幅に伸長したものの、大型のヒットタイトルに恵まれなかった国内ゲーム市場の鈍化が影響し、減収となりました。

その結果、売上高は1,405,261千円（前年同期比10.6%減）となりました。

③ アド・プロセス

アド・プロセスは、インターネット広告審査業務及び運用代行業務を提供しております。

官公庁案件を受注し着実に遂行した実績や、蓄積したノウハウ・ナレッジにより広告審査案件の受注が順調に推移いたしました。

その結果、売上高は1,177,486千円（前年同期比14.6%増）となりました。

④ サイバーセキュリティ

サイバーセキュリティは、主にWAF（※3）、脆弱性診断及びSOC（※4）サービスを提供しております。

脆弱性診断では、当社グループのリソース（セキュリティサービスと技術、既存事業の顧客など）を組み合わせることで、多くの需要・要望にワンストップで応えられるシナジーを生み出し、これを強みに既存顧客への深耕営業や大型案件の受注により順調に売上を拡大いたしました。

また、連結完全子会社であるEGセキュアソリューションズ株式会社が、サイバーセキュリティについて学べるオンラインサービス「Security Campus e-Learning」の提供を新たに開始いたしました。

その結果、売上高は595,816千円（前年同期比20.7%増）となりました。

（※3）Web Application Firewallの略称。ウェブアプリケーションの脆弱性を悪用する攻撃を検出・防御し、ウェブサイトを保護するためのセキュリティ製品。

（※4）Security Operation Centerの略称。企業や組織のIT基盤を24時間365日体制で監視しながら攻撃内容の脅威分析や助言を行う部門や専門組織。

⑤ その他

主にハードウェアに対するデバッグ業務を提供しております。

完全子会社であるEGテストサービス株式会社が、長年のノウハウと信頼・実績を強みとして新規開拓に努めた結果、売上高は675,778千円（前年同期比6.9%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、6,969,577千円となり、前連結会計年度末における流動資産6,510,045千円に対し、459,532千円の増加（前連結会計年度末比7.1%増）となりました。

これは主に、現金及び預金が262,159千円、売掛金が79,943千円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、1,756,148千円となり、前連結会計年度末における固定資産1,903,997千円に対し、147,848千円の減少（前連結会計年度末比7.8%減）となりました。

これは主に投資その他の資産が106,975千円減少したこと等によるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、8,725,726千円（前連結会計年度末比3.7%増）となりました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、1,647,850千円となり、前連結会計年度末における負債1,931,282千円に対し、283,431千円の減少（前連結会計年度末比14.7%減）となりました。

これは主に未払法人税等が342,655千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、7,077,876千円となり、前連結会計年度末における純資産6,482,760千円に対し、595,115千円の増加（前連結会計年度末比9.2%増）となりました。

これは主に、剰余金の配当245,399千円及び自己株式の取得89,906千円を実施した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益928,973千円を計上したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年5月9日の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,951,106	5,213,266
売掛金	1,414,590	1,494,534
仕掛品	4,704	15,158
その他	139,698	247,132
貸倒引当金	△55	△512
流動資産合計	6,510,045	6,969,577
固定資産		
有形固定資産	602,737	656,346
無形固定資産		
のれん	481,269	409,079
ソフトウェア	25,227	34,392
その他	168,079	136,623
無形固定資産合計	674,576	580,095
投資その他の資産		
敷金及び保証金	421,644	417,237
その他	374,330	271,573
貸倒引当金	△169,292	△169,103
投資その他の資産合計	626,682	519,707
固定資産合計	1,903,997	1,756,148
資産合計	8,414,042	8,725,726
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,326	6,063
未払金	778,577	847,680
未払費用	15,410	4,995
未払法人税等	389,996	47,340
未払消費税等	176,675	238,639
賞与引当金	104,333	26,857
その他	133,607	151,881
流動負債合計	1,604,927	1,323,458
固定負債		
役員株式給付引当金	141,340	163,405
長期預り保証金	74,062	60,070
その他	110,951	100,915
固定負債合計	326,354	324,391
負債合計	1,931,282	1,647,850
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	364,280	364,280
資本剰余金	382,380	383,969
利益剰余金	6,348,617	7,032,192
自己株式	△639,298	△729,204
株主資本合計	6,455,980	7,051,237
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	26,779	26,639
その他の包括利益累計額合計	26,779	26,639
純資産合計	6,482,760	7,077,876
負債純資産合計	8,414,042	8,725,726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
売上高	8,700,820	9,083,041
売上原価	5,826,711	6,535,290
売上総利益	2,874,108	2,547,751
販売費及び一般管理費	1,123,458	1,183,858
営業利益	1,750,650	1,363,892
営業外収益		
補助金収入	44,268	20,551
その他	14,307	8,783
営業外収益合計	58,576	29,334
営業外費用		
支払利息	4	—
支払手数料	—	179
為替差損	14,945	4,009
その他	33	408
営業外費用合計	14,983	4,596
経常利益	1,794,242	1,388,630
特別利益		
固定資産売却益	178	—
貸倒引当金戻入額	—	188
特別利益合計	178	188
特別損失		
固定資産除却損	862	1,614
不正関連損失	11,200	—
訴訟関連費用	—	10,507
特別損失合計	12,062	12,121
税金等調整前四半期純利益	1,782,359	1,376,697
法人税、住民税及び事業税	522,827	360,530
法人税等調整額	△83,737	87,193
法人税等合計	439,089	447,724
四半期純利益	1,343,269	928,973
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,343,269	928,973

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,343,269	928,973
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	22,416	△140
その他の包括利益合計	22,416	△140
四半期包括利益	1,365,686	928,832
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,365,686	928,832

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2023年5月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式40,100株の取得を行いました。この結果、当第3四半期累計期間において、自己株式が89,906千円増加し、当第3四半期会計期間末において自己株式が729,204千円となっております。

（会計上の見積りの変更）

（耐用年数及び資産除去債務の見積りの変更）

当社は、当第3四半期連結会計期間において、E Gセキュアソリューションズ株式会社の川崎事業所廃止時期の決定を行いました。これに伴い、廃止後利用見込みのない固定資産について耐用年数を短縮し、将来にわたり変更しております。

また、原状回復費用に関して見積りの変更を行うことで、敷金の回収が最終的に見込めないと認められる金額を合理的に見積り、そのうち当第3四半期連結累計期間の負担に属する金額を費用に計上しております。

この見積りの変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ1,472千円減少しております。

（重要な後発事象）

（株式会社チェンジホールディングスによる当社株式に対する公開買付け、同社との資本業務提携契約の締結及び同社への第三者割当増資による新株式の発行）

当社は、2023年8月2日開催の取締役会において、同日公表の「株式会社チェンジホールディングスによる当社株券に対する公開買付けに関する意見表明、同社との資本業務提携、及び同社を割当予定先とする第三者割当の方法による新株式発行に関するお知らせ」のとおり、株式会社チェンジホールディングスが当社の普通株式に対して行う公開買付けに関して賛同の意見を表明する旨の決議、及び同社との資本業務提携契約を締結する旨の決議、並びに同社を割当先とする第三者割当増資による新株式の発行を行う旨の決議をいたしました。

詳細は、上記「株式会社チェンジホールディングスによる当社株券に対する公開買付けに関する意見表明、同社との資本業務提携、及び同社を割当予定先とする第三者割当の方法による新株式発行に関するお知らせ」をご参照ください。